

☆6年生「Let's go to Italy.」（3／4時間目）

## I 活動内容

### (1) 導入

- 各国の国名を教師と一緒に英語で言う。（国旗の絵を見せながら）
- 国旗を使って、爆弾ゲームをする。（教師が言う国名を子供が復唱する。教師が china と言ったら、子供は机の真ん中に置いた消しゴムを素早く取る。）

### (2) 活動

- 行きたい国を尋ね、答える練習をする。

<方法>

「Where do you want to go?」と尋ね、教師が「I want to go to France.」と回答する。さまざまな国で答えの例を示す。

### 【成果】

さまざまな国で例を復唱することで、答える国の範囲が広がった。

- 行きたい国と、その理由を考える。

<方法>

- ① 理由を日本語で言う。
- ② 英語での、理由の表し方を知る。「Because～」
- ③ 子供が言った理由を教師が英訳し、子供が復唱する。
- ④ 「have」「go」など、代表的な動詞を黒板の隅にメモしておく。
- ⑤ 英語または日本語で、行きたい国とその理由をテキストに記入する。
- ⑥ 教師がインタビューの手本を示し、友達同士でインタビュー活動をする。



子供と手本を示す様子

### 【成果】

多くの子供が、理由を英語で伝えたいという思いをもつことができた。楽しんでインタビューすることができた。

### 【課題】

英語で書こうとすると、書くのに時間がかかった。



子供同士のインタビュー活動の様子

- 子供が行きたい国とその理由を発表し、その国に Google map を使って旅行する。



<方法>

教師が「Where do you want to go?」と尋ね、指名された子供が「I want to go to Italy. Because I want to go to Colosseum.」と答える。その場所を Google map で映し、世界旅行気分を味わう。

### 【成果】

多くの児童が他国の異文化に興味をもち、目でみて世界旅行気分を味わうことができた。

## II 成果と課題

- 導入で国名と国旗を使うことで、さまざまな国名を何度も復唱することができた。復唱することで、インタビュー活動で、すぐに国名を言うことができていた。
- ただ行きたい国を伝えるだけでなく、理由の表し方や伝え方まで学ばせた。これは、今後始まる高学年での外国語学習につながるスキルの1つとして、今回取り入れた。理由を伝えることで、友達の意見を興味をもって聞くことができた。また、人によって理由が異なるため、他者理解の良い面も生じていた。
- Google map を使って、子供が行ってみたい国に世界旅行に行っている気分を味わうことができた。映像を見せることで、リアルな街の様子や建物の様子を見ることができた。今後も有効活用できると感じた。
- △ 理由まで言うことが難しいと感じる子供、英語で書くことに時間を使ってしまいなかなかインタビューに行けない子供が何人かいた。書くことは、現在の外国語活動では重視されていないが、今後の授業内で扱っていくときにネックになるなど感じた。
- △ 難しい単語に抵抗感がないのはいいが、発音練習の時間が長くなってしまう。何度も繰り返すことで、他の活動の時間が減ってしまう。時間の使い方も考慮が必要だと分かった。